

第14回子ども虐待防止シンポジウム

子ども虐待初期対応の多機関多職種連携チーム(MDT)
～事故と虐待を見分ける～

2012年2月4日(土)・5日(日) [同時通訳付き]

お申し込みはホームページから。
12月5日受付開始です!

<http://symposium.childfirst.or.jp/>

会場：横浜シンポジア

時間：2月4日 10時00分～16時30分
2月5日 9時30分～16時00分

参加費：一般 13,000円
会員 10,000円
大学生 5,000円
インターネットまたは
FAXでお申し込みください。

ケガを負ったお子さんが病院に運ばれ、「虐待の疑いがある」と病院から児童相談所に通報があった。両親は「ベビーベッドから落ちた」と言っているし、子どものことをすごく心配していて、とても虐待する人には見えない。病院はあんなふうには言っていたけど、ほんとうに虐待なのかな? どうして虐待だとわかるのだろうか?

ケガをしたお子さんとご家族を前にして、こんな戸惑いを経験をされた方は少なくないのではないのでしょうか? ケガの原因が事故なのか、虐待なのかを正しく見極める知識を持つことは、医療機関だけに要求されるものではありません。児童相談所、警察、検察、その他、子どもの安全に関わる機関がそれぞれに正しい知識と共通の認識を持ち、お互いに連携していかなければ、子どもたちを守り、救うことはできません。

アメリカを代表する3人の先生方から、世界最先端の知見と取り組みについてご紹介いただきます。どうぞお楽しみに。



横浜シンポジア

神奈川県横浜市中区山下町2番地
貿易センタービル 9階

- ・みなとみらい線「日本大通り」駅
3番出口より徒歩5分
- ・JR 関内駅より徒歩15分、
タクシー5分

【共催】

- 認定特定非営利活動法人 子ども虐待
ネグレクト防止ネットワーク
- 特定非営利活動法人 かながわ
子ども虐待ネグレクト専門家協会
- RISTEX山中プロジェクト『虐待など
意図的傷害予防のための情報収集技術
及び活用技術』

【お問い合わせ】

子ども虐待防止シンポジウム事務局
〒259-1131

神奈川県伊勢原市伊勢原1-3-47

電話：0463-90-2715

FAX：0463-90-2716

E-mail：info@symposium.

childfirst.or.jp

【招聘講師】

キャロル・ジェニー氏

小児科医、ブラウン大学医学部小児科教授

世界最高峰のSBS専門家であるジェニー先生には、身体的虐待に対する多機関多職種連携チーム(MDT)アプローチについてお話していただきます。子どもの安全を守るため、児童相談所・医療機関・法医学者・警察・検察といった専門機関はどのように連携をとればよいのでしょうか。アメリカではどのように実践されているのでしょうか。

アレックス・レビン氏

小児眼科医、ウィルス眼研究所 小児眼科学・眼遺伝学部部长

トーマス・ジェファーソン大学医学部小児眼科学教授

硝子体網膜牽引説の提唱者であるレビン先生からは、「虐待による乳幼児頭部外傷(AHT)の診断における眼科医の役割」についてお話していただきます。

マーク・ディアズ氏

小児脳神経外科医。ミルトンS. ハーシー医療センター小児脳神経外科教授。

SBS予防教育プログラムの開発者であるディアズ先生には、「SBSは本当に暴力的揺さぶりで起こるのか? ～この人が赤ちゃんを揺さぶったとは思えないときの迷いに対して～」をテーマにご講演いただきます。

共催：* 認定特定非営利活動法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク (CMPN)
* 特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会 (KaPSANC)
* 社会技術研究開発センター (RISTEX) 研究開発領域「犯罪からの子どもの安全」
山中プロジェクト『虐待など意図的傷害予防のための情報収集技術及び活用技術』

第 14 回子ども虐待防止シンポジウム 参加申込用紙

ホームページでも、お申込みの受付をしております。できるだけインターネットをご利用ください。

URL: <http://symposium.childfirst.or.jp/>

私は平成 24 年 2 月 4 日 (土)・2 月 5 日 (日) の第 14 回子ども虐待防止シンポジウムに参加を希望します。(Fax 番号：0463-90-2716)

氏名： _____

所属： _____ 職種： _____

職域： 医療・保健・福祉・心理・教育・警察・司法・一般市民
(該当する分野を○で囲んでください。)

会員： CMPN 正会員・CMPN 賛助会員・KaPSANC 正会員・KaPSANC 賛助会員・非会員
(該当する会員種別を○で囲んでください。)

連絡先： 自宅・勤務先 (連絡先としてご希望の方を○で囲んでください。)

住所 〒 _____

Tel _____ Fax _____

メールアドレス _____

----- キ リ ト リ セ ン -----

* 参加費：一般：13,000 円
CMPN・KaPSANC 会員：10,000 円
大学生・短大生・専門学校生：5,000 円 (大学院生・研究生は除く)

* お申込みは、1 月 27 日 (金) までに 0463-90-2716 へ Fax、もしくは、インターネット (URL: <http://symposium.childfirst.or.jp/>) にてお願いします。ただし、その前に定員に達した場合は、その時点でお申込みの受理を締め切らせていただきます。

* お申込みが受理されますと、子ども虐待防止シンポジウム事業体事務局より「申込み受理」のお知らせが Fax もしくは E メールにて送信されますので、その後、1 週間以内に参加費をお振り込みください。なお、いったん納入していただいた参加費は返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。

振込先：郵便振替口座 加入者名：子ども虐待防止シンポジウム事業体
口座番号：00270-4-38391 (右詰めでご記入ください。)

* パネル・ディスカッションのご案内 *

テーマ：「事故か虐待か？ アセスメントのための多機関多職種連携チーム (MDT)
～日本に MDT を結成していくうえで障害となっているものは何か？～」

座長：山中 龍宏氏 [RISTEX 山中プロジェクト、小児科医]、山田 不二子 [CMPN、内科医]

パネリスト：キャロル・ジェニー氏 [ブラウン大学医学部 小児科教授]

アレックス・レビン氏 [ウィルス眼研究所 小児眼科学・眼遺伝学部長]

マーク・ディアズ氏 [ミルトン・ハーシー医療センター 小児脳神経外科教授]

奥山 真紀子氏 [国立成育医療研究センター病院、小児科医・児童精神科医]

岩瀬 博太郎氏 [千葉大学大学院医学研究院 教授、法医学者]

山崎 麻美氏 [国立病院機構大阪医療センター 副院長、脳神経外科医]

中山 百合氏 [国立成育医療研究センター病院、眼科医]

宮崎 祐介氏 [金沢大学理工研究域機械工学系、工学研究者]

郷原 信郎氏 [名城大学総合研究所 教授、弁護士、元検事]

扇山 剛氏 [神奈川県警察本部生活安全部少年育成課、警部]

長尾 洋氏 [神奈川県中央児童相談所、所長]